

高原町立後川内中学校卒業式



後川内中学校卒業式

Takaharu town assembly report



高原町

議会だより



「高原町の町木」

95号

令和8年 1月臨時会(第1回) 3月定例会(第2回)

【目次】

- 議会のあらまし・・・P 2～P 5
- 一般質問・・・P 6～P 9
- 委員会報告・・・P 10～P 12
- 議会の動き・・・P 13
- きらり☆たかはるびと・編集後記・P 14

【令和8年度の施政方針】

予算額 75億7,900万円

【令和8年度 主な事業】



▲施策方針

【最重点施策】

①健康づくりと地域医療の充実

- ◆病院整備事業（重点支援地方交付金分含む）・・・1億2,798万5千円
- ◆健康づくり推進活動事業（人間ドッグ）・・・240万円
- ◆予防接種事業・・・4,409万8千円

②教育充実のための整備

- ◆教育支援事業・・・1,262万3千円
- ◆小学校机購入事業・・・185万6千円
- ◆学校施設整備事業（小学校）・・・1,493万円
（高原小学校屋内運動場のトイレ改修工事）



▲高原小学校屋内運動場
トイレ改修工事

③危機管理体制の充実

- ◆農業水路等長寿命化・防災減災事業（鷹巣中尾地区）・・・700万円
- ◆県単独土地改良事業（中切地区）・・・368万円
- ◆消防ポンプ自動車購入事業・・・3,300万円
- ◆多目的防災拠点施設整備事業（下麓区）・・・550万円

④第一次産業（農業・林業・畜産業）の振興

- ◆環境保全型農業直接支払交付金事業・・・447万4千円
- ◆再造林率向上強化対策事業・・・480万円
- ◆未来につなぐ園芸基盤強化対策事業・・・300万円
- ◆優良繁殖素牛導入支援事業・・・550万円
- ◆県営畑地帯総合整備事業 祓川第2地区・・・800万円
- ◆県営畑地帯総合整備事業 日守1-1期地区・・・1,580万円



▲子牛品評会の様子

⑤商工観光の振興

- ◆地域商社活動・開発推進事業・・・6,409万5千円
- ◆高原町商工会補助金・・・529万8千円
（町内事業者連携多角的支援事業含む）
- ◆高原町地域彩生デザイン支援事業補助金・・・150万円
- ◆高原町観光協会運営支援事業・・・1,333万円
- ◆御池フローティングサウナ設計・施工・プロモーション事業・・・2,000万円
- ◆皇子原公園・御池キャンプ村管理運営委託事業・・・1,500万円



▲御池、松の港の栈橋

⑥子育て支援・少子化対策

- ◆保育料等負担軽減事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・147万6千円
- ◆放課後児童健全育成事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・5,604万7千円
- ◆地域子育て支援拠点事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・724万5千円
- ◆病児保育事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・1,057万4千円
- ◆利用者支援事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・2,387万9千円
- ◆妊婦のための支援給付事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・740万円1千円



▲霧島美化センター資源ごみ保管庫棟整備事業

⑦公共施設の整備

- ◆霧島美化センター資源ごみ保管庫棟整備事業・・・・・・・・・・417万5千円
- ◆柳町団地44棟解体工事・・・・・・・・・・・・・・・・・・653万8千円
- ◆後川内団地7年棟外壁補修工事・・・・・・・・・・・・・・・・・・576万6千円
- ◆高原町総合運動公園多目的芝生広場観覧席設置事業・・・・・・5,779万7千円



▲後川内団地7年棟外壁補修工事

【重点施策】

1. ふるさと納税特産品贈呈事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・約5億円
2. 移住・定住の推進
 - ◆たかはる移住定住促進事業
 - 移住定住支援金交付事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・340万8千円
 - ◆地域おこし協力隊員設置事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・4,068万円
3. 高齢者支援
 - 養護老人ホーム峰寿園運営事業（施設修繕含む）・・・・1億6,390万4千円
4. 資源と魅力を生かした地域の活性化
 - 集落支援員設置事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・453万6千円
5. 地域交通の充実
 - 広域的コミュニティバス（悠々バス購入補助金含む）・・・・596万9千円



▲総合運動公園多目的芝生広場観覧席設置工事予定地



▲イントラネットワーク専用設備移設整備事業（ほほえみ館展示室改修工事）

【主な新規事業】

- ◆宮崎県議会議員選挙・・・・・・・・・・・・・・・・・・254万7千円
- ◆イントラネットワーク専用設備移設整備事業・・・・・・・・・・1億5,410万3千円
- ◆飼い主のいない猫等不妊去勢手術助成事業補助金・・・・・・・・75万円
- ◆家庭用生ごみ処理機等購入費補助金・・・・・・・・・・・・・・・・70万円
- ◆舗装補修事業（単独）二葉・並木線（舗装打換え）・・・・・・2,060万円



▲舗装補修事業（単独）二葉・並木線

現地調査【水道会計】

- ◆後川内浄水場 2号取水井戸ポンプ交換工事・・・・・・・・・・500万円
- ◆町道後川内保育所線他1路線 配水管布設替工事・・・・・・・・1,000万円



▲後川内浄水場2号取水井戸ポンプ交換工事



▲町道後川内保育所線他1路線配水管布設替工事場所

1月
臨時会

第1回臨時会において、報告2件、議案4件（条例1件、補正予算2件、その他1件）が提案され、原案どおり、可決しました。

【報告】

- 事故の和解及び損害賠償の額を定めた件・・・2件

【議案】

- 高原町手数料条例の一部を改正する条例…コンビニ交付の住民票、印鑑登録証明書300円→150円（令和8年3月16日～令和9年3月31日まで）
- 令和7年度高原町一般会計補正予算（第8号）・・・補正額 1億2,428万5千円
※主なもの
 - ・重点支援地方交付金事業・・・補正額 9,000万円
たかはる暮らし応援商品券を配布するもの（経費含む）
- 令和7年度高原町病院事業会計補正予算（第3号）…不採算地区病院の運営に要する経費…補正額 561万円
- 指定管理者の指定
 - ・高原町総合運動公園を（有）宮之城観光会館[皇子原温泉健康村]が管理する
令和8年4月1日から令和13年3月31日まで

3月
定例会

第2回定例会において、報告3件、承認1件、議案27件（条例11件、補正予算6件、予算9件、その他1件）が提案され、原案どおり、承認、可決しました。 発議1件は、可決されました。

【報告】

※主なもの

- 奥霧島地域商社ツナガルたかはる株式会社 第6期事業計画
 - ・令和7年度ふるさと納税寄付額（実績見込）・・・約5億円
 - 第5期における決算見込み額 522万1,048円（当期純利益）

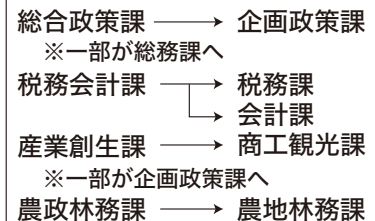
【承認】

- 令和7年度高原町一般会計補正予算（第9号）・・・補正額 953万5千円
 - ・令和8年2月8日執行の衆議院議員選挙にかかる経費

【条例改正】

※主なもの

- 課設置条例等の一部を改正する条例
 - ・課の見直しと、町民等に分かりやすい課の名称に変更
- 一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例 他2件
 - ・・・人事院勧告等による改定



【令和7年度補正予算】

	補正額	予算計
○国民健康保険特別会計補正予算（第3号）	2,969万5千円	14億6,242万3千円
○介護保険事業特別会計補正予算（第3号） 保険事業	312万5千円	15億3,319万1千円
○後期高齢者医療特別会計補正予算（第3号）	1,361万円	3億4,178万9千円
○病院事業会計補正予算（第4号） 病院事業収益	2億1,879万7千円	9億4,858万2千円
※収益的収支のみ記載 病院事業費用	2,488万8千円	9億4,276万1千円
○高原町一般会計補正予算（第10号）	1億5,948万2千円	74億8,928万2千円

☀️ 観光費

高千穂峰 山頂避難小屋の整備
3,200万円

Q:

- ・どういう工事が。
- ・鍵を付けるのか。
- ・誰が管理するのか。

➡️ A:

- ・入りロドア、屋根の改修、室内の柱の補強をする等。
- ・鍵はつけない。（避難所）
- ・管理委託を考えている。

○高原町一般会計補正予算（第11号）

1,714万円 75億 642万2千円

☀️ 児童福祉費

物価高対応子育て応援手当上乗せ支給事業（県単独事業）

Q:

- ・詳細と対象人数は。
- ・給付はいつ頃か。

➡️ A:

- ・1人15,000円の上乗せ
- ・3月31日現在、18歳未満の1,095名
- ・4月下旬から5月を予定。

【その他】

○第6次高原町総合計画の基本計画の変更

【令和8年度の主な予算内容】

各会計	予算額	前年度増減額
一般会計	75億7,900万円	9億3,200万円
国民健康保険特別会計	14億6,473万1千円	5,653万1千円
介護保険事業特別会計(保険事業勘定)	14億218万4千円	△1,111万8千円
〃 (介護サービス事業勘定)	383万6千円	△1,597千円
後期高齢者医療特別会計	3億5,181万5千円	2,671万2千円

事業	営業(医業)収益	営業(医業)費用
水道事業	1億7,053万9千円	1億7,277万円
農業集落排水事業	542万円	4,612万1千円
病院事業	6億5,311万7千円	9億4,128万1千円

一般会計予算・決算常任委員会で審査した主なもの

<p>☀️ 老人福祉費 茶飲み場及びお話し相手事業の委託経費 294万4千円</p>	<p>Q: ・昨年より減っているがなぜか。 ・ボランティアスタッフへ交通費1回200円は安いのでは。</p>	<p>A: ・お話し相手のボランティアスタッフが減ったので18万円の減である。 ・検討する。</p>
<p>☀️ 老人福祉費 老人クラブ活動費事業 119万4千円</p>	<p>Q: ・現在の老人クラブの状況は。増額できないか。</p>	<p>A: ・17クラブ、会員515名。連合会の繰越金とイベントごとの助成で賄ってほしい。</p>
<p>☀️ 児童福祉費 支援対象児童等見守り強化事業 825万9千円</p>	<p>Q: ・事業の実績と活動は。</p>	<p>A: ・令和7年度は12世帯の93回、生活物資を持って訪問し、見守り相談活動を行っている。</p>
<p>☀️ 道路維持費 町道の舗装打換え 二葉・並木線 2,060万円</p>	<p>Q: ・並木郵便局のカーブの所までできないか。 ・亀裂はなくなるのか。</p>	<p>A: ・本年度は、JAから坂元商店まで。 ・コンクリートの亀裂を埋めてアスファルトを敷く。</p>
<p>☀️ 教育振興費 地域学校協同活動事業 11万5千円</p>	<p>Q: ・放課後公営塾のことだが、この予算でできるのか。 ・しっかりした物を作ってほしい。</p>	<p>A: ・夏休み以降、小学校高学年、中1年生を対象に24回程度を考えている。 ・モデル事業であり、ボランティア的な要素が多い。</p>
<p>☀️ 観光費 御池フローティングサウナ設計・施工・プロモーション事業 2,000万円</p>	<p>Q: ・フローティングとは。 ・どういうプランなのか。</p>	<p>A: ・松の港、棧橋に付設する御池に浮かぶサウナ。1日、12名×200日の営業を見込んでいる。</p>

【発議】

○民生委員・児童委員の処遇改善を求める意見書・・・・・・・・・・・・・・・・全会一致で可決

採決が分かれた議案の議員別賛否一覧 令和8年第2回定例会 議決結果(内容)

議案番号	件名	議決結果	議員									
			①岩元礼子	②福澤卓志	③温水宜昭	④	⑤山下香織	⑥西嶋陽代	⑦外村仁	⑧郡山貞利	⑨末永充	⑩前原淳一
議案第18号	令和8年度高原町一般会計予算	可決	○	○	○	-	○	●	○	○	○	-
議案第20号	令和8年度高原町国民健康保険特別会計予算	可決	○	○	○	-	○	●	○	○	○	-



▲発議第1号



▲討論の様子

「○」：賛成、「●」：反対、「除」：除斥、「棄」：棄権、「欠」：欠席

丸山町長所信表明の具体策について



ぬくみず よしあき
温水 宜昭議員



(一般質問の様子)

● 高原町財政について

問 公共施設等整備に数十億円規模の予算が必要と思われるが。

答 国の補助金、交付金の活用検討や、地方債や基金を想定し、国、県に対し、財源確保に向け情報収集等努めていく。

問 公共施設整備検討委員会の現状は。

答 学校建設は高原中学校の空き教室を利用し、必要最小限の建設とするよう検討し、役場庁舎については既存施設である総合保健福祉センターほほえみ館や中央公民館等の部局配置等も踏まえ、早急に方針を示したい。

● 行財政改革への取り組みについて

問 人口減（生産人口）による町税収入確保は。

答 直近での町税は法人税の増加等により微増であるが、今後は適正かつ公平な課税や収納率向上に力を入りたい。

問 ふるさと納税（地域商社）の強化については。

答 令和7年12月31日より町長が代表取締役就任したが、メリット・デメリットを分析し幅広く検証しながら次期体制を決定していく。又、ふるさと納税市場の動向を細かく分析しながら、重要な財源としての寄附獲得を強く推進していきたい。

問 中長期的な財政見通しの作成や公表については。

答 令和7年度決算を踏まえ、財政収支見直しを進めたい。

問 役場組織の見直しについて

答 役場組織分散の影響は。行政組織の分散によりご不便をおかけしているが、解消に向けてほほえみ館周辺に役場機能を移転すべきとの認識である。

問 職員の知識や技術向上について

答 人事配置の適正化を進め、国、県との人事交流や研修職員の派遣を継続し、職員の知識習得や人脈形成を図っていく。

問 課長が係の業務を兼務する課が見受けられるが。

答 今後の人口減少を踏まえれば、安易な職員採用は避ける必要があり、定員管理計画に基づいて努めていく。

たかはる学園について



こおりやま さたとし
郡山 貞利議員



(一般質問の様子)

● 教育行政について

問 確かな学力を育む教育の推進に向けて、新たな学校ではどのように実践されるのか。

答 確かな学力の育成については、小中一貫校の特性を生かし、9年間を見通した教育課程を編成し、毎年度の検証と改善を行う。今後は地域学校協働活動の一環として、放課後等において児童生徒の学習を支援する公営塾をモデル事業として実施したいと考えている。



問 教科担任制、習熟度別クラス編成、振り返り学習などの学力の底上げを図る取り組みは。

答 たかはる学園では小中の教職員を兼務させ、専門性を生かした指導

体制の構築を図っていく。振り返り学習については、習熟度別クラス編成による指導や、A・Dドリルを活用した個別最適な学習を組み合わせ、児童生徒の学習状況を踏まえた支援体制を強化していく。

● 建設行政について

問 空き家再生等推進事業導入の進捗状況は。

答 県内で空き家等の除却に関する取り組みを行っているのは16自治体で、国の空き家再生等推進事業を活用しているのが15自治体、独自の事業を行っているのが4自治体である。町内にも事業の対象となりうる建物が存在することから、要綱や規則等の制定に向け調査を進めていく。

問 通学路の管理については予算の都合上1回の管理になるといふことだが、危険度は解消されないままである。危険箇所の地権者に承諾を得ることにより、PTAや地域住民が伐採、草刈りを出来るようにする考えは。

答 危険箇所の地権者の情報を建設水道課で提供し、PTAや地域の方の協力を得ながら、安全確保に努めていきたい。

創意工夫で町民サービスの充実を



ふくざわ たくじ 福澤 卓志議員



(一般質問の様子)

●高齢者工芸センター

問 高齢者以外の一般町民でも活用できないか。

答 昭和63年に国の補助事業を活用して設置し、高齢者の活用がメインの施設である。

問 利用するには高齢者を交えないとできないか。

答 高齢者を一人でも交えれば利用可能。

●生活困窮対策等の取組

問 どのような取組を行なっているか。

答 子育て世帯に対し、経済的な給付、学習生活サポート、子ども家庭センター（専門窓口）での各種相談支援などであり、フードバンクは高原町社会福祉協議会が行っている。

問 生活困窮している町民への支援について町長の考えは。

答 単なる経済的支援にとどまらず、町民一人一人の尊厳を守り、孤立させない地域づくりを行っていく。自立相談支援の強化や各種団体、地元企業と連携を密にして支援を行っていく。

●町内特産品開発等

問 町内特産品開発の状況は。

答 地域商社による開発として、チユロス、ニジマスの干物がある。

問 たちばな特産品コンテスト後の特産品等の状況は。

答 「たかはるのお茶」が販売開始している。

問 今後の計画は。

答 樫原市（神武天皇「日本建国の地」と繋がりながら、高原町をPRしていく。また、たかはる学園の開校記念に「たちばなを使ったアイス」を配布する計画がある。

●職員定数等

問 行政組織に関する人員配置に関する町長の考え方は。

答 課題や政策目標を実現するために行うものであると考えている。

問 正規職員・専門職職員の充足が必要であるが、会計年度任用職員であっても正規職員への登用ができないか。

答 採用の公平性から、公務員採用試験を経て職員として勤務していただきたい。

●病院運営

問 皮膚科と眼科の診療はできないか。

答 医師の確保が困難である。

問 退院前リハビリなどに取り組んでももらえないか。

答 今後も回復期病床としての対応も行なっていく。

町民の声に耳を傾けて



いわた れいこ 岩元 礼子議員



(一般質問の様子)

●不登校児童生徒の支援について

問 不登校児童生徒の教育機会の確保、支援について。

答 全国的にも不登校児童生徒の増加しており、本町においても不登校児童生徒がいることは承知をしている。全ての児童生徒が安心して学び、確かな学力を身に付け、ふるさと高原に誇りを持つことができる学校づくりを実現する必要がある。全ての児童生徒の教育機会の確保を図りたい。

問 子供たちの相談、支援の対応、またその環境は整っているのか。

答 全ての児童生徒に毎月アンケートを実施、教師が対応し、また教育委員会、ソーシャルワーカー等の関係者がそれぞれの役割に依りて対応している。学校に通えない児童生徒については安心することのできる場所や学習する内容を子供や保護者と話し合って決めていく。関係者が支援できる体制を整えている。

問 学校にいけない児童生徒への対応は。

答 適応指導教室を設置しており児童生徒の学校復帰を支援している。また、スクールソーシャルワーカーが児童生徒の家庭に訪問し、個性、特性、背景に応じた支援を行っている。フリースクール等の機会の取組と必要性は。

●物価高騰による農業支援について

問 定期的な飼料価格高騰対策補助を実施すべきでは。

答 飼料価格1t当たり1,000円を頭数、給与量に応じて支援する畜産飼料高騰対策支援事業。令和6年1月～12月出荷された子牛に対して1頭当たり3,000円を支援する和牛繁殖経営緊急対策支援事業。園芸農家等エネルギー高騰対策事業。今後も支援を実施していく。

問 各種補助金の案内周知は。

答 積極的に案内周知に努める。

問 ヘルパー要員確保・育成のための補助金の利用は。

答 西諸地域酪農ヘルパー・高原町和牛ヘルパー組合の支援を行っていく。

●大型トラックの往来について

問 大型トラック往来による住民調査の依頼について。

答 騒音、振動の相談は数件受けている。調査の申請があった場合必要性を検討したいと考える。



後回しにしない動きを求む!!



やました かおり
山下 香織議員



(一般質問の様子)

●本庁舎のアスベストについて

問 アスベストの使用状況は。

答 庁舎の一部天井や床仕上げ材にアスベスト含有建材が使用されている。

問 健康リスクの認識は。

答 本庁舎に使用されているアスベスト含有建材は、発じん性の比較的低い「作業レベル3」と判断されている。

問 アスベスト除去等の検討はしたか。

答 仮設庁舎への移転を伴う耐震補強・改修工事により、事業費が約3億円から6億4,900万円へと大幅に増加した為、断念した経緯がある。早い段階で飛散防止対策を考慮した適切な解体も含めた検討が必要。

問 今後の庁舎整備の方向性は。

答 公のたてもの等整備検討委員会にて精査し方向性を定める必要がある。

●移住・定住の施策について

問 空き家活用の具体的な方向性は。

答 空き家の改修や借り上げによる公的サブリースは有効な取組であり、空き家解消と移住促進の両面から一定の成果を上げているものと認識している。未利用の公的住宅や空き家の活用等、実施可能な施策から取り組む必要がある。



▲対応が求められる空き家

問 人口減少対策の基本的な考えは。

答 住宅確保や雇用環境の整備を進めつつ、移住者増加だけでなく関係人口や交流人口の拡大も含めて総合的に取り組む必要がある。

賛否のある施策は丁寧な説明を



ほかもら ひとし
外村 仁議員



(一般質問の様子)

●町のインターネット関連施策について

問 メタサービスイリアの維持管理費用の財源と支払先は。

答 月額約30万円程度を見込んでおり、システムを構築した町外の事業者に対し、必要最小限の管理費のみを支払う形としている。可能な限り一般財源に依存しない形を目指して、企業版ふるさと納税やクラウドファンディングの活用などで財源確保の工夫を行う。

●ふるさと納税について

問 令和6年度と比較しての増減とふるさと納税の仕組みについて。

答 令和7年度は約1億2千万円減の約5億円となる見込み。現時点でふるさと納税が普通交付税の基準財政収入額に算入されることはない。町民が他自治体に対してふるさと納税を行った場合に基準財政収入額は減るが、75%は普通交付税において

財政措置がされるため25%だけが収入減になる。

●学校関連施策について

問 狭野小学校、広原小学校、後川内小・中学校の跡地の活用について。

答 後川内小学校については校舎の一部を後川内まちづくり準備委員会や、町が埋蔵文化財保管室等に活用する予定としており、後川内中学校については公募により民間事業者や関係団体から幅広く提案を募集するなど、地域にとって最適な活用方法を実現するべく対応していく。狭野・広原の各小学校については学校跡地活用検討委員会を今後開催し、協議を進めていく。

問 体育館は地域住民での活用や避難所としての利用を想定していると思うが、空調設備を設置する予定はないか。

答 すべての体育館において空調設置をする場合、経費が非常に大きくなるため、今後他の公共施設整備との優先順位を検討したうえで、慎重に検討する必要があると考えている。

現場の声をかたみに



にしま はるよ
西嶋 陽代議員



(一般質問の様子)

●産業廃棄物処理施設

問 令和4年から現在までの町の対応は。

答 県との意見交換、地元・事業者・県・町の4者による協議を実施。

問 住民の不安は解消されたか。

答 法的強制力がなく、未承認の県外の産廃を搬入している状況。不安は解消されていない。

問 町道の拡幅は。

答 事業費が膨大になり、通行止めも発生する。協議の上、離合の為に待避所を3カ所設置することになった。300m以内に1カ所。2カ所は申請済み。

問 工事に係る財源は。

答 事業用地の調査・用地買収及び待避所の設計、工事費等の費用は事業者が負担。舗装等の規格も町道に準じる。

問 県の第4次環境基本計画について町の対応は。

答 隣接3県から排出された産業廃棄物であって、優良産廃処理業者が関与するという前提。県へしつかり、要請していく。

●通学バス運行の安全対策

問 スクールバスのほほえみ館駐車場の配置や乗り場確保は。

答 スクールバス・保護者の迎えの車両・学童保育の車両の停車場を指定する。



▲勢ぞろい、スクールバス

問 待機場所・屋根が必要だが。旧中体育館の雨どいを修理してほしい。

答 場所は設定するが、待機場所は設置しない。雨どいの修理については、体育館の在り方を含めて考えていく。

●道路損傷通報システム

問 LINE公式アカウントから道路の損傷が通報できるようになったが、どういう所まで対応できるのか。

答 道路・公園の損傷、街路樹の倒木、動物が死んでいた場合も対応できる。匿名でも可。

気候変動の影響による対策について



すえなが みつる
末永 充議員



(一般質問の様子)

●コメの収量・品質対策

問 厳しい暑さにも対応できる「南海189号」ひなた舞の農家への栽培指導は。

答 栽培技術のマニュアルを作成し、令和9年産より本格的に苗の供給がされる。

問 イモチ病に強く、舞い上がるほどの美味しさで、神楽の舞を連想させる「ひなた舞」のPRは。

答 暑さに強い品種として、水稲作付者及び消費者にPRを行う。

●県畜産試験場再編計画

問 川南支場の機能を高原町の本場に集約し、スマート畜産業や気候変動への対応予定計画は。

答 事前説明はあったが具体的な協議等は実施していない。

●水資源

問 畑作営農についてどう推進していくのか。

答 散水器具の貸出、実演会や展示

会等を実施し水の利用促進を啓発していく。

問 自然災害に対応できない下川原の井堰の対応は。

答 多額の修繕となるので、費用の一部を町の維持管理費で対応する。

●飼料費・資材費高騰対策

問 畜産、園芸農家の経営維持にかかる支援策は。

答 国の重点支援地方交付金を活用し、畜産飼料高騰対策支援事業、和牛繁殖経営緊急対策支援事業、園芸農家等エネルギー高騰対策事業を実施する。

問 素牛導入支援は。

答 昨年同様、和牛次世代確立対策事業や肥育農家導入支援対策事業を実施していく。

●職員の労働環境

問 ストレスに係る相談に対応しているのか。

答 毎年度ストレスチェックを実施し、その結果を本人へ個別に通知している。



1. 目的

今回の行政調査では、庁舎建設と空き家促進活用事業、学校跡地利用（集落活動センター）について、調査を行った。

2. 期日 令和7年10月21日（火）～23日（木）

3. 調査先・調査項目

- 大分県津久見市・・・新庁舎建設の経緯と概要
- 高知県津野町・・・新庁舎建設及び学校跡地利用（集落活動センター）
- 高知県梶原町・・・空き家活用促進事業及び学校跡地利用（集落活動センター）

①【庁舎建設】「負担を抑え、命を守る」拠点づくり

各市の「財源確保」と「防災機能」の工夫を対比して報告します。

津久見市	津野町
<p>住民投票で建設場所を決定し、知恵で勝ち取った財源</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総事業費約41.5億円（実質負担15億円） ・住民投票を経て「港湾埋立地」への建設を決定。 ・過疎債7%、緊急防災・減災事業債88%、一般単独事業債4%、庁舎基金1% 過疎債及び緊防債は約70%が交付税対象。 ・総務省へ粘り強く働きかけた結果、「緊急防災・減災事業債」を適用。 ・「おたけ屋敷みたいな庁舎」として動画を公開。NHK等で取り上げられ、YouTubeの活用で、約5,500万円相当の広告効果を生み、ふるさと納税増額に貢献。 	<p>各種事業を導入し、負担とコスト削減</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総事業費19.2億円 ・「Nearly ZEB」認証を取得し、電気使用量を75%削減する設計。 ・ZEB補助金（1.6億円）や合併特例債（10億円）、まちづくり基金（2.7億円）、森林環境譲与税（1億円）、一般財源5,000万円を活用。 ・執務室の無線LAN化やフリーアドレス対応など、将来の組織変更にも柔軟な設計。 ・新庁舎移転時、段ボール詰めや整理作業を職員自ら行い、コスト削減とスムーズな移行を実現。

①のまとめ

津久見市では、国や県を使った財源確保と建設計画が、市の自己負担を最低限に抑えた庁舎建設に大きく寄与し、かつ市民のニーズが反映された市政となっていた。

津野町は財政規模や人員体制、町民の意見を考慮しながら、現実的な運営を行っており、また環境に配慮することで補助金も得られ、総事業費とランニングコストも抑えられていた。



▲新庁舎耐震性能の要となる免震装置

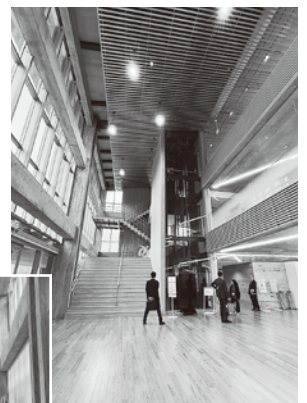


▲津久見市庁舎建設現場



▲間仕切りのない執務室

- 1F
 - ・町民課
 - ・健康福祉課
 - ・会計管理課
- 2F
 - ・観光推進課
 - ・産業課
 - ・まちづくり推進課
 - ・総務課
 - ・町長室等
- 3F
 - ・議会事務局・議場等



▲大人4人が同時に避難できる階段



▲津野町庁舎

②【空き家活用】 梶原町に学ぶ「町負担ゼロ」の戦略

「住む場所がないための人口流出」を防ぐ具体的解決策として報告します。

- ・空き家活用促進事業（地域にある空き家の資源を有効活用し、移住定住者の受け皿づくりを進め、地域の活性化・集落の維持につなげる。）
- ・事業内容
国の空き家対策総合支援事業補助金が2分の1、県の高知県住宅耐震化促進事業補助金が4分の1出るような、残りの改修費用の4分の1を将来借り手が負担するしくみである。町が持ち主から10～12年無償で借り上げ、国・県の補助金を活用して水回りと耐震を中心としたリフォームを行い、移住者に月額25,000円で貸し出し、この間の固定資産税を減免している。
- ・実質負担の解消：入居者からの賃料収入で、町の持ち出し分を相殺し、最終的な町負担を0円にする仕組みである。
- ・成果：令和7年6月時点で累計59棟がすべて入居中という稼働率であった。



▲梶原町空き家活用促進事業研修の様子

他の補助金

町産材利用促進事業、若者定住住宅整備事業、がけくずれ住家防災対策事業、浄化槽設置整備事業、新エネルギー施設導入事業、木造住宅耐震設計・改修事業、飲料水確保対策事業。

③【学校跡地・集落活動センター】「住民が主役」の地域再生

廃校をどう守り、どう稼ぐ場に変えるかを調査しました。

- ・津野町「精華」：廃校のランチルームを拠点に、草刈り作業の受託などを収益事業化。
- ・梶原町「はつせ」：韓国交流から生まれた「鷹取キムチ」を商品化し、韓国式サウナやレストランなどを事業を拡大し、雇用を創出してきた。
- ・共通の課題：活動を支えるリーダーの高齢化と、次世代への継承。

〈②と③のまとめ〉

梶原町では、町が空き家を借り上げ、移住者に貸出すしくみにより、住宅確保と財政負担の軽減を両立する取組が行われています。また集落活動センターでは、福祉支援から地域産業、雇用作りへと発展し、住民主体のまちづくりが進められていました。一方で、担い手不足や次世代への継承といった課題も見えてきました。人口減少時代における持続可能な地域づくりの重要性を改めて感じました。

〈全体をとおしての考察〉

これらの事例を参考に、本町でも財政負担の少ない庁舎建設、住まいや働く場所の確保、地域の担い手づくりをすすめ、人口流出を防ぐ具体的な施策の検討及び実行に取り組むよう当局に働きかけていきます。



▲集落活動センター「はつせ」が運営している韓国式レストランとサウナ「チムジルバン」



▲集落活動センター「はつせ」

1. 目的

学校統廃合や病院経営に関する課題に対し、他自治体の先進的な学校運営に関する取組や病院経営の考え方について調査を行った。

2. 期日 令和7年11月12日(水)～13日(木)

3. 調査先・・・長野県上水内郡信濃町

4. 調査項目・町立病院について、小中一貫校及び義務教育学校について、公共施設の視察

①町立病院について

諸事情により病院内部の視察は行えなかったが、互いの町立病院の現状と今後についての情報交換を主として行った。

◎一般会計(他会計)からの繰入金について

一般会計からの繰入金に関して、基準外繰入金が約1億円を超える年度もあった。基準外繰入金を病院に対して行っていることに関して、町民から苦情や意見はないかとの質問に対して、特にないとの回答であった。信濃町内に信越病院の他に歯科医院が3軒と県境に診療所が1軒となっており、信越病院が町民の生命線になっているのではないかと推測される。

②小中一貫校及び義務教育学校について

高原町立小中一貫教育校が2026年4月に開校し義務教育学校を目指すにあたり、先進的な取組を行っている信濃町立信濃小中学校の取組事例や課題や、小中一体型の学校施設について視察を行った。

③公共施設の視察

信濃町内の教育委員会管理の公共施設3か所の視察も行った。

◎ナウマンゾウ博物館 ◎一茶記念館(小林一茶の生誕地) ◎黒姫童話館・童話の森ギャラリー

〈まとめ〉

信濃町は高原町と人口・予算規模がほぼ同等の町であり、町の課題も人口減少や財政状況など高原町と似た部分が多いと感じた。

①町立病院について

信濃町唯一の病院として町民の医療にどのように応えるかを考えて病院経営にあたっていた。

高原町立病院においては近隣の病院軒数などの状況は異なるが、他の病院と連携して公立病院として求められる医療提供を行いながら健全経営に向けた施策が必要と感じた。

②小中一貫校及び義務教育学校について

信濃町では校舎の増改築について起債や補助金を活用し、町財政の負担軽減に努めていた。

通学支援について、各地区の児童・生徒の人数に応じて効率的な運用を行っていた。本町においてもバスにこだわらず、費用負担軽減のためにも利用する児童・生徒の人数に応じてスクールタクシーの活用も選択肢の一つではないかと思う。

③公共施設の視察

郷土の歴史や自然を活かした公共施設で、平日であったが一般来館者の姿もあり堅実に運営されていた。本町においても天孫降臨と初代神武天皇生誕地、御池や皇子原など郷土の歴史と自然があるので、これまで以上に認知度を上げる施策が必要であると思う。



▲信濃町立信濃小中学校



▲野尻湖ナウマンゾウ博物館

議会の動き

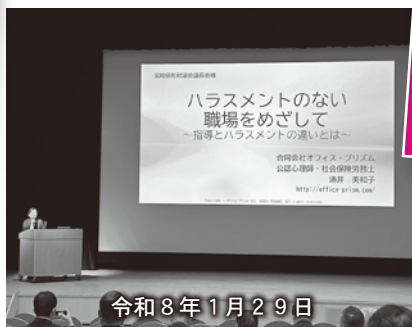
令和8年1月1日～3月31日まで



令和8年1月22日

◇三股町議会と「議会運営の諸問題について」の合同研修を行いました。

議会の在り方検討特別委員会行政調査



令和8年1月29日

◇「ハラスメントのない職場をめざして」について研修しました。

全議員研修会



令和8年1月30日

◇西諸広域行政事務組合消防本部の業務について研修しました。

西諸州市郡議会議長会議員研修会



令和8年2月20日

◇物価上昇の影響による農業経営の現状と課題について意見交換を行いました。
(園芸関係、畜産関係、JA)

JA各部代表との意見交換会

1月	7日	子牛品評会
	8日 9日	市町村議会議員特別セミナー
	13日	議会だより編集委員会
	20日	にしもろ産学金官交流会
	22日	議会運営委員会
		全員協議会
臨時議会		
		議会の在り方検討特別委員会行政調査
29日	県町村議会議長会全議員研修会	
30日	西諸州市郡議会議長会議員研修会	
2月	4日	子牛品評会
	20日	JA各部会代表との意見交換会
	25日	議会運営委員会
	27日	全員協議会
3月	4日 18日	3月定例会
	27日	議会の在り方検討特別委員会
	30日	県知事との意見交換会

※その他、議長については議長用務があります。

全国町村議会議長会表彰

この度、全国町村議会議長会より、功労ならびに特別功労賞を頂くことができました。これはひとえに、皆さまのご理解とご支援があればこそで、心より感謝申し上げます。私の一番の思い出といえば、全国で市町村合併が進む中、ここ高原町でも議会を二分し、意見をぶつけ合ったことです。私は今日まで常に前向きに、信念を持って物事に向きあってきたつもりですし、今後も変わることはありません。

高原の議員は、皆さん勤勉で明るく闊達な方ばかりです。これからも足元だけでなく国内はもちろん、世界に目を向け自己研鑽に励み更なる高みを目指してほしいと願っています。



議員と語ろう会を開催します。

期日	場所	時間	備考
4月20日(月)	狭野体育館	午後7時00分 ～ 午後8時30分	※どの会場でも参加できます。 ご都合の良い日に是非ご参加ください。 ※グループに分かれて行います。 ※テーマ 高原町のまちづくりを考える。
4月21日(火)	後川内体育館		
4月22日(水)	広原体育館		
4月23日(木)	ほほえみ館中研修室		



議会の傍聴
しませんか？

6月定例会は **6月10日(水)～** (質問者数により日程が決まります。)

本会議は午前10時開会 ※請願・陳情を出される方は6月2日(火)までにご提出下さい。

詳細は町公式ホームページにて **YouTubeにてライブ配信をしております。**
高原町議会事務局 ☎42-5138 **チャンネル登録をお願いします。**



議会の動き

狭野小学校 閉校記念事業実行委員会 (記念誌部会)



閉校にあたり、寂しさや虚しさを感じているのは、大人の方が多いのかもしれませんが、一方で子どもたちは、新しい学校での生活に期待を寄せ、楽しみにしています。

だからこそ大人たちは、その子どもたちをしっかりと支え、誰もが安心してなじめる環境を整えていくことが大切だと考えています。

これからもしっかりとサポートしていきたいと思っています。

“PTA会長のメッセージ 子どもファースト”

- ・津曲 健 (校長先生)
- ・新名 祥弘 (教頭先生)
- ・林 雅仁 (PTA会長)
- ・坂口 浩教・増田 雅弘
- ・鳥集 悠平・宮地 隆史
- ・河原 啓志



今年度、高原町内の4つの小学校と2つの中学校が閉校となり、長い歴史に幕を下ろしました。

それぞれの学校では、地域や卒業生・児童・生徒、保護者の皆様の想いが込められた記念誌が作成されており、その一つ一つに深い愛情と歩みが刻まれていました。その記念誌の思いを取材させて頂きました。

ご協力頂きました皆様ありがとうございました🙏

お詫び

文字数の都合により、すべてのメッセージを掲載できなかったことをお詫び申し上げます。

高原小学校 閉校式実行委員会 (記念誌制作部)



PTAを中心に一生懸命取り組みました。約140年の歴史をまとめるのに苦労しましたが、皆様の温かいご協力に支えられ、記念誌が完成しました。HPもあるので、よかったですら、見てください。

- ・武田 透 (校長先生)・田代 見二 (教頭先生)
- ・元明 吉文 (PTA会長)・大迫 恒作・村田 智代
- ・岩元 省太・齊藤 美由紀

高原中学校 高原中学校閉校式実行委員会 (記念誌担当)



学校が新しくなる、という実感がないのかな、と思います。生徒会に入っているからこそ、たかはる学園をより良くしていきたいと思っています。

記念誌を通して、生徒のみんなにも、新しくなる、という事を感じてほしいです。

- ・西岡 雅弘 (校長先生)・柏木 友和 (教頭先生)
- ・下村 善敏 (PTA会長)・山崎 史織 (高原中学校生徒会2年)

後川内小・中学校 閉校式実行委員会 (記念誌担当)



この記念誌を見て、『昔はこんなだったよね』と懐かしさを感じていただけたらうれしいです。

これからも、この後川内の伝統や想いが風化することなく、次の世代へと受け継がれていくことを願っています。



- ◎後川内小・福留 憲昭 (校長先生)・今西 隼人 (教頭先生)
- ◎後川内中・中川 浩伸 (校長先生)・水間 周作 (教頭先生)
- ・入木 信次 (PTA会長)

広原小学校 閉校式実行委員会 (記念誌部会)



151年の歴史を締めくくった広原小学校。これまで受け継がれてきた伝統や想いを大切にしながら、新しい学校でもそれぞれが前を向いて頑張っていくと願っています。

制作にあたり、多くの方々から写真のご提供やご協力をいただき、心より感謝申し上げます。

“PTA会長のメッセージ 広原小バンザイ”

- ・東 篤志 (校長先生)・松吉 啓二 (教頭先生)
- ・高原 心太郎 (PTA会長)・脇田 悠 (記念誌部会部長)

編集後記

閉校記念誌作成取材を通して寂しさだけでなく、未来への期待や不安など様々な想いが交差している事を改めて感じました。こうした想いを過去で終わらせず、教育や地域作りへつなげていく事が必要です。子供達の未来のため、議会として教育環境の充実と地域の絆を守り、責任を持って取り組んでまいります。 編集委員 山下 香 織